



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和5年度第30号
令和6年2月2日
文責：校長 西田 英実

トップ会議で生活のきまりを見直しています

本校には、「トップ会議」という生徒会の話し合いの場があります。参加者は、生徒会本部役員、生徒会各委員会委員長、各学級委員長です。議題の多くは、生徒会活動の反省や改善について、生徒会顧問の指導のもと進められています。

そのトップ会議で、2学期から話し合われてきたのが「生徒心得」。いわゆる校則の一部見直しです。

学校生活は、様々な生徒が過ごす集団生活です。したがって、学校生活を安心して落ち着いたものにするため、ルールが必要です。一方で、社会の変化と共に、実際の生活に合わないものが生じてきます。その見直しを、教職員だけでなく、生徒の意見も取り入れながら進めています。

きっかけは、「きまりについて統一が図られていないものがある」、「きまり自体があいまいである」といった生徒の声でした。そこで、次のように見直しを進めてきました。

1 校則について、生徒が考える機会を設けること

(1) 生徒自身が、自分達の学校生活をより良くするために、どんな校則が必要か、必要でないものは何か、考える場を設け、主体的に考える力を養うこと。生徒指導主事も話し合いに加わりました。

(2) 自分達で決めたルール、約束事を自分達で守ろうとする態度を養うこと

2 これまでの保護者の皆様の意見も参考に、社会の変化を踏まえながら、学校として規律ある生活を確立すること

きまりの根拠や影響を考え、どうすれば200人も生徒が安全・安心な学びの環境で過ごすことができるか、考えるのは大変なことです。しかし、それらを通して、身近な課題を自分達で解決していこう、という民主主義の基本的な態度を学ぶこと、つまり、主権者教育につながる活動です。

3 実際の会議のようす

会議では学級からあがった意見などをもとに、髪型や服装、持ち物について話し合いを重ねました。原案を学級に戻してまた話し合う、という丁寧な積み重ねをし、髪型などいくつかのきまりを改善する運びとなりました。

特に3年生から、職場体験などでの経験や、進路・入学試験を見すえた建設的でまっとうな意見が数多く出され、充実した話し合いになりました。さすが3年生です。今年度の話し合いは今回（2月1日）のトップ会議で終了します。校則については、今後も 適宜、見直しをしていきます。



==服装、持ち物など校則を考えるときに、大切にしていること==

- 1 安全であること
- 2 落ち着いた生活を送るためにふさわしい内容であること、派手でないこと
- 3 学習の妨げにならないこと
- 4 中学生の身だしなみの基本、すなわち清潔であること
- 5 私たちは社会の一員であること
社会に出て、恥ずかしくない、相手に不快な思いをさせないこと。たとえば、入試や職場体験、地域学習に出向いた際、草野中生として胸を張っていられること
- 6 流行に左右され、高価な買い物、保護者の経済的負担につながらないこと

生徒会役員選挙が進んでいます



来年度前期の生徒会本部役員を選出する役員選挙が進んでいます。2月2日（金）には立ち会い演説会が行われました。正式な結果は来週、選挙管理委員会から発表されます。

<来週の予定>

日	曜	おもな行事
5	月	3年実力テスト、A時間割開始、ALT来校
6	火	草野小6年生授業・部活動参観 SC 出役、ICT サポーター出役
7	水	
8	木	学校司書出役、ICT サポーター出役
9	金	修学旅行説明会2年、学校司書出役、弁当 2/11 福島高専学力検査

<さ来週の予定>

日	曜	おもな行事
12	月	建国記念の日 2/11 の振替休日
13	火	SC 出役
14	水	ICT サポーター出役
15	木	1・2年学年末テスト、学校司書出役
16	金	1・2年学年末テスト、学校司書出役 生徒会委員会

<今週の言葉>

「節分」
季節が移り変わる時、特に立春の前日。「大寒」を過ぎ、確実に春が近づいています。